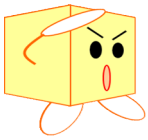
エコアクション21
環境経営レポート

2019年度
（2019年4月～2020年3月）

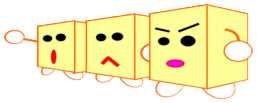
太陽インダストリー株式会社

段ボール事業部　戸畑工場

作成日：2020年5月1日



目　次



(1)全組織の概要

(2)認証・登録範囲

(3)事業の規模

(4)実施体制と組織図

(5)環境経営方針

(6)環境経営目標

(7)環境経営計画

(8)取組内容

(9)環境経営目標に対する実績

(10)取組結果及び評価

(11)次年度の環境経営目標及び環境経営計画

(12)環境関連法規等の遵守状況の確認
及び評価の結果並びに違反訴訟等の有無

(13)代表者による全体の見直しと評価

（1）全組織の概要

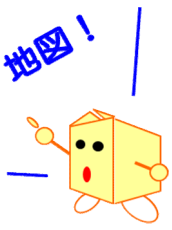
事業所名		所在地	人員	事業活動内容
本　　社		北九州市小倉南区湯川4丁目1-1	9	組織全体の総務・経理・人事等の管理業務
段ボール事業部	戸畑工場	北九州市戸畑区川代2丁目3-7	48	段ボールケースの製造販売及び包装資材の販売
	製品在庫保管倉庫	北九州市戸畑区銀座2丁目9番9号	10	
化成品事業部	中津工場	大分県中津市大字上如水１３４２	80	人工大理石製品・樹脂成形品の製造
	新田工場	大分県中津市大字大新田４２５－２	59	レジンコンクリート製品の製造FRP成形品の製造 重量物段ボールケースの製造・販売
段ボール事業部	大分事業所	大分県臼杵市大字武山1894番地-1	16	段ボールケースの製造
構内事業部	小倉事業所	北九州市小倉北区中島２丁目１番１号 TOTO小倉工場内	41	衛生陶器製品の製造、及び梱包出荷業務の請負
	中津事業所	大分県中津市是則７００ TOTO中津工場内	128	衛生陶器製品の製造・検査及び梱包出荷業務の請負
	舞ケ丘事業所	北九州市小倉南区舞ヶ丘1-1-1 TOTO舞ヶ丘工場内	54	衛生陶器製品の梱包出荷業務の請負

（2）認証・登録範囲

①　対象事業所

事業所名　：太陽インダストリー株式会社　段ボール事業部　戸畑工場
関連事業所　：太陽インダストリー株式会社　段ボール事業部　製品在庫保管倉庫
代表者名　：段ボール事業部　戸畑工場　事業部長　宮嵜　亮太郎
環境管理責任者：佐藤　康一
担当事務局　：城戸崎　雄太
連絡先　：TEL093-884-2135　FAX093－884-2130

所在地
1)戸畑工場　〒804-0071　福岡県北九州市戸畑区川代2丁目3番7号
2)製品在庫保管倉庫　〒804-0076　福岡県北九州市戸畑区銀座2-9-9



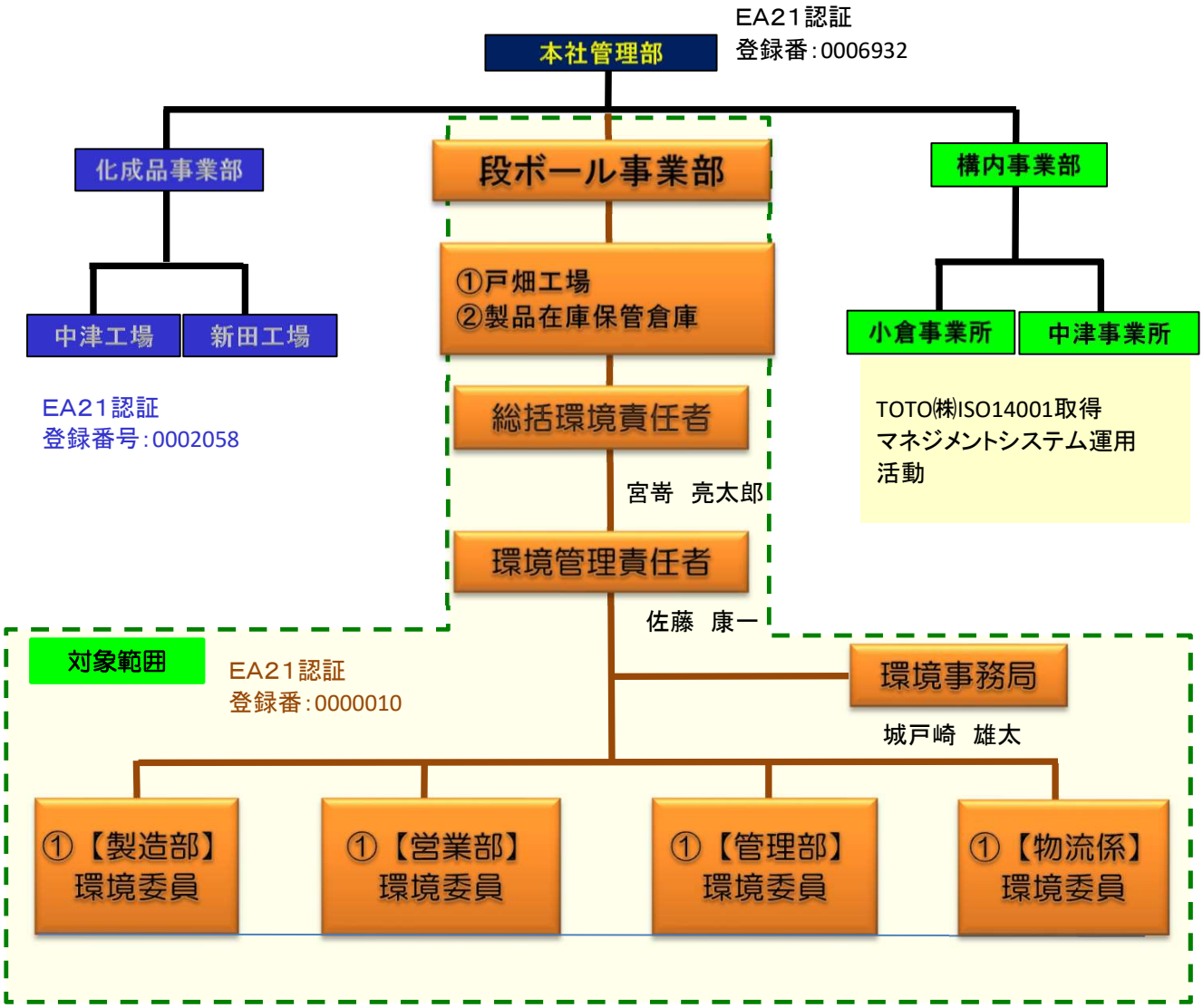
② 対象事業活動

段ボールケースの製造販売及び包装資材の販売

（3）事業の規模

項　　目	単位	2017年度	2018年度	2019年度
主要製品生産量	t	4,505	4,582	4,655
出　荷　額	万円	108,780	109,921	107,979
従業員人数	人	58	57	59
床　面　積	㎡	8,564	8,564	8,564

（4）実施体制と組織図



（5）環境経営方針

1. 基本理念

当社は、「お客様の繁栄をお手伝いをする」ことをモットーに、人と自然との共生をめざして快適で安全な地球環境の保全に少しでも貢献するよう社員一人ひとりが創意・工夫を図り環境負荷の低減に積極的に取組みます。

又、生活活動の推進資源の消費者として環境に配慮した資材の調達に努めます。

2. 環境方針

当社は、段ボールケースの製造・販売及び包装資材の販売を行っている中で環境負荷の低減を図る為、以下の環境活動を推進しています。

（1）環境目標を定め、定期的に見直し継続的な環境経営システムの改善に努める。

（2）環境に関わる、あらゆる法規制とその他要求事項を遵守する。

（3）当工場の事業活動に伴う影響を考慮し以下の項目について環境改善に努める。

①二酸化炭素排出量の削減。（電気使用量の削減・維持、自動車燃料の使用量削減等）

②廃棄物排出量の削減。

③投入資源の削減。

④総排水量の削減。

⑤環境配慮包装設計の推進。

（4）継続的環境改善の実施を行い更なる環境意識の向上及び環境教育を展開し全従業員の環境意識を高めていく。

（環境活動による費用対効果を対前年比と比較し開示及び周知させ環境に対する意識の向上を目指す。）

2003年10月1日制定

2018年　4月1日改定

太陽インダストリー株式会社

段ボール事業部　　戸畑工場

工場長　　宮寄　亮太郎

（6）環境経営目標

項目			単位	基準値	2017年度目標	2018年度目標	2019年度目標
二酸化炭素排出量	電気使用量		kwh/千㎡ (kg-CO2換算)	48.21 (18.56)	47.73 (18.38)	47.25 (18.19)	46.77 (18.01)
	自動車燃料使用量	物流	l/万㎡ (kg-CO2換算)	53.03 (139.17)	52.50 (137.78)	51.97 (136.39)	51.44 (135.00)
		営業	km/l (kg-CO2換算)	13.68 (16.97)	13.81 (16.81)	13.95 (16.65)	14.09 (16.48)
	総量（原単位総量）		kg-CO2	278,454 (174.7)	275,669 (172.69)	272,885 (171.14)	270,100 (169.49)
廃棄物排出量			㌧	14.75	14.60	14.46	14.31
総排水量			l/日	3,514.9	3,479.8	3,444.6	3,409.5
包装材使用量の削減			案件/年	10	10	10	10
投入資源の削減（加工平米のロス率の削減）			%	1.040	1.030	1.019	1.009

※　九州電力の実排出係数0．３８５ｋｇ-CO2／KWh（平成22年度）

＊基準値は直近３年の実績平均を基準とする(一部例外を除く)

（7）環境経営計画

（戸畑工場）

環境目標　電気使用量の削減　46.77(kwh/千㎡)

2017年 基準値（2017年上期実績平均）48.21（kwh/千㎡）に対し、3%削減

（環境委員会等で未達成の原因が取組方法であった場合は、具体的達成手段の項目を追加又は変更すること）　→ 計画　● 実施

項目	手段	取組み内容	推進責任者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実施日
省エネ	不要電力の削減	● 使用時以外の照明器具の消灯	全員	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	随時
		● スポットクーラーから冷風機置換による省力化（工場内）	松本				→	→	→	→						7~10月
		● 冷暖房設定温度の厳守	松本	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	随時
		● 主要3機種　時間当たりの生産性管理（管理値　設定による問題改善）	松本	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	随時
		● 使用時以外の機械電源OFFでの電力削減（サックマシン）	各担当	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		随時
		● 機械部品の適正管理による生産停止時間の削減（機械部品リスト作成による部品在庫の拡充）	松本	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	毎月
内部コミュケーション	ミーティング	● 朝礼にて月１回電気使用量の実績報告	組長	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	随時

（戸畑工場）

環境目標　二酸化炭素排出量の削減　51.44（ℓ/万㎡）

54期(7月度～9月度AV)ガソリン使用量AV（ℓ/万㎡）対比1%削減

（環境委員会等で未達成の原因が取組方法であった場合は、具体的達成手段の項目を追加又は変更すること）　→ 計画　● 実施

項目	手段	取組み内容	推進責任者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実施日
省資源（ｶﾞｿﾘﾝ・軽油使用量の削減）	エコドライブ10の推進	● 効率的配送計画の実施	竹下	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	日々
		● ガソリン使用量・燃費の把握	竹下	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	4月
		● 車両点検・整備の実施（ オイル交換の実施など）	松田	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	日々
		● アイドリングストップの推進	石田	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	日々
		● 加速・減速の少ない運転の推進	坂本	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	日々
		● エコドライブ運転実施状況の確認	坪根	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	日々
		● 安全運転講習（社内・外部）	栗田									→				
外部コミュニケーション		● 工場周りの清掃。 毎月１回	楠根	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	月一
		● 戸畑埠頭ボランテア活動	岡本							→						

（戸畑工場）

環境目標	二酸化炭素排出量の削減　14.09(km/l)
	基準値燃費対比3%向上

（環境委員会等で未達成の原因が取組方法であった場合は、具体的達成手段の項目を追加又は変更すること）

→ 計画　● 実施

項目	手段	取組み内容	推進責任者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実施日
省資源（ｶﾞｿﾘﾝ・軽油使用量の削減）	車両管理の実施	● 経済運転の推進（急発進、急停止の禁止）	菅	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	随時
		● タイヤ空気圧の調整（1回／月給油時に調整）	中道	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	随時
		● 不必要なエアコンの停止(エアコンOFFの推進)	小松	→	→					→	→					随時
		● オイル交換時期の管理実施（5000km毎に一度交換）	今仁	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	随時
		● 不要物の撤去(車内清掃による重量軽減の推進)	城戸崎	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	随時
		● ドライブレコーダー稼働確認・録画初期化	立山	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	随時
		● 燃費管理	児玉	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	随時

（戸畑工場）

環境目標	廃棄物排出量の削減　14.31(t)
目標値	**一般ごみ　1.11ｔ　441袋**　/基準値　2014年度～2016年度実績平均より３%削減

（環境委員会等で未達成の原因が取組方法であった場合は、具体的達成手段の項目を追加又は変更すること）

→ 計画　● 実施

項目	手段	取組み内容	推進責任者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実施日
一般ゴミ排出量削減	一般ゴミの分別による削減	● ゴミの分別の徹底（工場内からの排出ゴミを調査）	渡邊	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	日々
		● ゴミ回収日にゴミ調査を行う	本田担当	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	週２
		● ゴミ排出量削減案の検討・実施	村田		→	→					→	→				該当月
		● 工場周りの清掃。　毎月１回	山口	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	月一
外部コミュニケーション		● 戸畑埠頭ボランティア活動	全員							→						―

＊　産業廃棄物はリサイクル率（２０１５年度　実績９１．３２％）が高く発生も少ないので、削減活動としては一般廃棄物の取組を行っています。

（戸畑工場）

環境目標	総排水量の削減
目標値	3,409.5ℓ/日 ： 基準値　2014年度～2016年度平均 3,514.9ℓ/日より3%削減

（環境委員会等で未達成の原因が取組方法であった場合は、具体的達成手段の項目を追加又は変更すること）

→ 計画　● 実施

項目	手段	取組み内容	推進責任者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実施日
水使用量の削減	不要な水使用量の削減	● 水使用量の把握	渡邊 村田	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	日々
		● 日々平均より増加の日の原因調査	渡邊	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	日々
		● 漏水箇所の補修、定期漏水ﾁｪｯｸの実施	山口	→		→		→		→		→		→		各月
		● 蛇口の水漏れ定期点検	村田 山口	→		→		→		→		→		→		各月
		● 廃水処理稼働の把握	渡邊	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	日々
		● 水使用量削減案の検討・実施	村田				→	→								該当月

（戸畑工場）

環境目標	環境配慮包装設計の推進
	環境に優しい提案を10案件

（環境委員会等で未達成の原因が取組方法であった場合は、具体的達成手段の項目を追加又は変更すること）

→ 計画　● 実施

項目	手段	取組み内容	推進責任者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実施日
包装材使用量の削減 （年間10案件）	包装重量削減	● 環境負荷低減の設計提案管理	児玉	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	毎月 10日
	過剰材料見直しによる包装重量削減	● ISOPから中芯P200を使用している品番のリストアップ	立山			→	→									該当月
		● リストからP200からS160へ置き換えが出来そうな品番を選定	城戸崎					→	→							該当月
		● 選定品番を基に客先に交渉。	各営業担当							→	→	→	→			該当月
		● 変更可能品番の図面作成及び立上準備	技術課員											→	→	該当月
	ブランク製品図面見直しによる寸法の最適化	● ISOPからブランク製品をすべてリスト化し、必要データ抜粋	児玉				→	→								該当月
		● ブランク品番の適正大判寸法を算出（リスト作成）	児玉						→	→						該当月
		● 作図用 木型データ入手	児玉								→	→				該当月
		● 大判寸法変更確定品の図面作成・登録変更準備	技術課員										→	→	→	該当月

（戸畑工場）

環境目標	環境資源投入時の加工ロス削減

（担当部門）製造　部門

（環境委員会等で未達成の原因が取組方法であった場合は、具体的達成手段の項目を追加又は変更すること）

→ 計画　● 実施　（作成日）　2019/5/16

項目	手段	取組内容	推進責任者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実施日
【主要3機種】加工平米のロス率削減	ロス事由改善による加工平米のロス率削減	● 数量厳守製品のスペア枚数削減による余剰ケース削減	船田	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	毎月
		● 主要3機種　加工ロス率管理（管理値　設定による問題改善）	各機長 職制	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	毎月
		● 100ケース以上の加工ロスについて問題改善	各機長 職制	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	随時
基準値 （2014～16年度実績平均） 対比2%削減		● 乾燥時期におけるスチーム機使用による割れ不具合防止	職制							→	→	→	→	→	→	随時
		● エクオス検査カメラ位置計測登録による加工ロス削減	職制	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	随時

（8）取組内容

1．二酸化炭素排出量を　基準値より３％　削減

項目		活動内容	責任者
1 不要電力の削減/管理	1	・使用時以外の照明器具の消灯	製造課長
	2	・主要３機種　時間あたりの生産性管理	
	3	・スポットクーラーから冷風機置換による省力化	
	4	・機械部品の管理による生産停止時間の削減	
2 配送用トラックガソリン使用量の削減	1	・効率的配送計画の実施	業務課長
	2	・ガソリン使用量、燃費の把握、管理	
	3	・定期的な車両点検による管理	
	4	・エコドライブ運転実施状況の確認	
3 営業車両のガソリン軽油使用量の削減	1	・エコドライブの推進	営業課長
	2	・車内積載物の整理（荷重低減）	
	3	・不要なエアコンOFFによる燃費向上推進	
	4	・定期的にオイル交換の実施（管理及び交換月の連絡）	

2．廃棄物排出量　基準値より3%　削減

項目		活動内容	責任者
1一般ごみの分別による削減	1	ゴミの分別の徹底	業務課長
	2	ゴミの内容把握や削減案の検討	

3．総排水量を　基準値より3%　削減

項目		活動内容	責任者
1 不要な水使用量の削減	1	・日々の水道メーターの確認と増加要因の把握	業務課長
	2	・工場全体の漏水チェックや蛇口の水漏れ点検実施	
	3	・廃水処理稼働の把握による水使用量管理	

4．包装材使用量の削減　１％以上　10案件

項目		活動内容	責任者
1材質・仕様変更による重量低減	1	・過剰材料見直しによる包装重量削減	営業課長
	2	・ブランク製品図面見直しによる寸法の最適化	

5．環境資源投入時の加工ロス削減　基準値より3%　削減

項目		活動内容	責任者
1主要３機種加工平米のロス率削減	1	・数量厳守製品のスペア枚数削減による余剰ケースの削減	製造課長
	2	・主要３機種　加工ロス率管理	
	3	・乾燥時期におけるスチーム機使用による割れ不具合防止	
	4	・印刷機検査カメラ位置計測登録による加工ロス削減	

*環境意識向上取組みとして

・朝礼等で内部コミュニケーションの一環として周知・教育

・川代地区で実施の街美化運動(ゴミ拾い)の参加

（9）環境経営目標に対する実績

項　　目			単位	基準値	2019年度目標	2019年度実績	判定
二酸化炭素排出量	電気使用量		kwh/千㎡ (kg-CO2換算)	48.21 (18.56)	46.77 (18.01)	44.99 (17.32)	○
	自動車燃料使用量	物流	l/万㎡ (kg-CO2換算)	53.03 (139.17)	51.44 (135.00)	43.54 (114.26)	○
		営業	km/l (kg-CO2換算)	13.68 (16.97)	14.09 (16.48)	16.48 (14.09)	○
	総量 (原単位総量)		kg-CO2	278,454 (174.7)	270,100 (169.49)	222,177 (145.67)	○
廃棄物排出量			㌧	14.75	14.31	9.56	○
総排水量			l/日	3,514.9	3,409.5	3,266.5	○
包装材使用量の削減			案件/年	10	10	10	○
投入資源の削減（加工平米のロス率の削減）			%	1.040	1.009	0.248	○

※　九州電力の実排出係数0．３８５ｋｇ-CO2／KWh（平成22年度）

（10）取組結果及び評価

不要電力の削減による二酸化炭素排出量削減
取組み内容
　工場機械の生産性管理を中心に、不要電力の削減や冷風機への置換え、機械部品管理によるチョコ停の軽減に取り組みました。
取組み結果及び評価
　設備が増えた変化等ありましたが、生産性向上による効果が出たことで目標達成に貢献できたと思います。

配送用トラックの燃費向上による二酸化炭素排出量削減
取組み内容
　エコドライブ10の推進及び効率的配送計画の推進、エコサムによる監視・教育を行いました。
取組み結果及び評価
　取組を随時実施したことにより、燃費も３台平均0.41L/km向上。結果として通期で目標達成ができました
　エコサムの数値にて小ミーティングや教育も随時行うことができ、人員変化などにも対応できています。

営業車両の燃費向上による二酸化炭素排出量削減
取組み内容
　営業車の定期的な整備及び燃費管理と不要なエアコンOFFの推進を行いました。
取組み結果及び評価
　燃費も基準の117%向上と目標達成できました、今年もHV車を導入にて大きく向上に繋がりました。

一般ごみ削減による廃棄物排出量の削減
取組み内容
　ゴミの分別の徹底を推進しました。また、花壇の撤去・アスファルト舗装を実施しました。
取組み結果及び評価
　分別・圧縮棒での詰め作業にて多少なりとも効果でていると思われる。
　花壇の撤去・アスファルト舗装で翌年の草土の削減へ期待のもてる取組もできた。

不要な水使用量の削減による総排水量の削減
取組み内容
　日々水道メーターの監視測定を中心に、工場全体の漏水チェックや廃水処理稼働の管理を行いました。
取組み結果及び評価
　上期、工事での休日出勤や熱中症対策の冷風機使用で使用量増になったが、下期、清掃方法見直し等変化をもたらしたことで目標達成に繋がりました。

材料・仕様変更による包装材重量低減

取組み内容

過剰材料による包装材重量削減とブランクケースの寸法最適化に取組ました。

取組み結果及び評価

VE提案とともに、材料の適正化や設計提案を絡めて実施できました。

また、ブランクケースも一部見直しにより効果が少しでています。今後も継続ください。

環境資源投入時の加工ロス削減

取組み内容

数量厳守品番の余剰品管理、検査カメラの精度向上によるロス率削減に取組みました。

取組み結果及び評価

加工平米ロス率は３機種で0.248%となっており、基準値対比で76%の削減ができました。

各取組内容の効果も十分に出ていると思います。

（11）次年度の環境経営目標及び環境経営計画

項目			単位	基準値	2020年度目標
二酸化炭素排出量	電気使用量		kwh/千㎡ (kg-CO2換算)	46.17 (17.78)	45.71 (17.60)
	自動車燃料使用量	物流	l/万㎡ (kg-CO2換算)	43.05 (112.98)	42.62 (111.85)
		営業	km/l (kg-CO2換算)	17.83 (13.02)	17.92 (12.95)
	総量 (原単位総量)		kg-CO2	228,235 (143.78)	225,953 (142.40)
廃棄物排出量			㌧	8.43	8.35
総排水量			l/日	3,266.5	3,233.8
包装材使用量の削減			案件/年	10	10
投入資源の削減（加工平米のロス率の削減）			%	0.364	0.361

※　九州電力の実排出係数0．３８５ｋｇ-CO2／KWh（平成22年度）

＊基準値は直近３年の実績平均を基準とする(一部例外を除く)

（戸畑工場）

環境目標　電気使用量の削減　45.71(kwh/千㎡)

2017年度下期～2019年度実績平均46.17(kwh/千㎡)に対し、1%削減

（担当部門）製造　部門

(環境委員会等で未達成の原因が取組方法であった場合は、具体的達成手段の項目を追加又は変更すること)　→ 計画　● 実施

項目	手段	取組み内容	推進責任者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実施日
省エネ	不要電力の削減	● 使用時以外の照明器具の消灯	全員	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	随時
		● 冷暖房設定温度の厳守	松本	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	随時
		● 主要3機種　時間当たりの生産性管理（管理値　設定による問題改善）	松本	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	随時
		● 自動仕切組機生産性管理	松本	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	随時
		● 工場内LED照明交換による電力量削減	松本												→	3月
		● 機械部品の適正管理による生産停止時間の削減（機械部品リストによる部品整理）	松本	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	毎月

（戸畑工場）

環境目標	二酸化炭素排出量の削減 42.62（ℓ／万㎥）
	2017年度～2019年度 ガソリン使用量AV（ℓ／万㎥）対比1%削減

（担当部門） 物流 部門

（環境委員会等で未達成の原因が取組方法であった場合は、具体的達成手段の項目を追加又は変更すること）

→ 計画 ● 実施

項目	手段	取組み内容	推進責任者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実施日
省資源（ｶﾞｿﾘﾝ・軽油使用量の削減）	エコドライブ10の推進	● 効率的配送計画の実施	竹下	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	日々
		● ガソリン使用量・燃費の把握	竹下	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	毎月
		● 車両点検・整備の実施（ オイル交換の実施など）	松田	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	日々
		● アイドリングストップの推進	石田	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	日々
		● 加速・減速の少ない運転の推進	坂本	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	日々
		● エコドライブ運転実施状況の確認	坪根	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	日々
		● 安全運転講習 （社内・外部）	栗田									→				
外部コミュニケーション		● 工場周りの清掃。 毎月１回	楠根	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	月一
		● 戸畑埠頭ボランテア活動	岡本							→						

（戸畑工場）

環境目標	二酸化炭素排出量の削減 17.92(k㎥)
	基準値 2019年度実績平均より0.5%向上

（担当部門） 営業 部門

（環境委員会等で未達成の原因が取組方法であった場合は、具体的達成手段の項目を追加又は変更すること）

→ 計画 ● 実施

項目	手段	取組み内容	推進責任者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実施日
省資源（ｶﾞｿﾘﾝ・軽油使用量の削減）	車両管理の実施	● 経済運転の推進（急発進、急停止の禁止）	菅	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	随時
		● タイヤ空気圧の調整（1回／月給油時に調整）	中道	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	随時
		● 不必要なエアコンの停止（エアコンOFFの推進）	小松	→	→					→	→					随時
		● オイル交換時期の管理実施（5000km毎に一度交換）	今仁	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	随時
		● 不要物の撤去（車内清掃による重量軽減の推進）	城戸崎	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	随時
		● ドライブレコーダー稼働確認・録画初期化	児玉	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	随時
		● 燃費管理	立山	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	随時

（戸畑工場）

環境目標	廃棄物排出量の削減 8.35(t)
目標値	一般ごみ 0.90ｔ 360袋 / 基準値 2017年度～2019年度実績平均より1%削減

（担当部門） 業務 部門

（環境委員会等で未達成の原因が取組方法であった場合は、具体的達成手段の項目を追加又は変更すること）

→ 計画 ● 実施

項目	手段	取組み内容	推進責任者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実施日
一般ゴミ排出量削減	一般ゴミの分別による削減	● ゴミの分別の徹底（工場内からの排出ゴミを調査）	渡邊	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
		● ゴミ回収日にゴミ調査を行う	本田担当	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
		● ゴミ排出量削減案の検討・実施	村田								→	→				
		● 工場周りの清掃。 毎月１回	山口	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
外部コミュニケーション		● 戸畑埠頭ボランティア活動	全員							→						

＊ 産業廃棄物はリサイクル率（２０１５年度 実績９１．３２％）が高く発生も少ないので、削減活動としては一般廃棄物の取組を行っています。

（戸畑工場）

環境目標	総排水量の削減
目標値	3,233.8ℓ/日 ： 基準値　2019年度平均 3,266.5ℓ/日より1%削減

（担当部門）業務　部門

（環境委員会等で未達成の原因が取組方法であった場合は、具体的達成手段の項目を追加又は変更すること）

→ 計画　● 実施

項目	手段	取組み内容	推進責任者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実施日
水使用量の削減	不要な水使用量の削減	● 水使用量の把握	渡邊 村田	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	日々
		● 日々平均より増加の日の原因調査	渡邊	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	日々
		● 漏水箇所の補修、定期漏水ﾁｪｯｸの実施	山口	→		→		→		→		→		→		
		● 蛇口の水漏れ定期点検	村田 山口	→		→		→		→		→		→		
		● 廃水処理稼働の把握	渡邊	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	日々
		● 水使用量削減案の検討・実施	村田				→	→								

（戸畑工場）

環境目標	環境配慮包装設計の推進　10案件
	環境に優しい提案を10案件

（担当部門）営業部門

（環境委員会等で未達成の原因が取組方法であった場合は、具体的達成手段の項目を追加又は変更すること）

→ 計画　● 実施

項目	手段	取組み内容	推進責任者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実施日
包装材使用量の削減（年間10案件）	包装重量削減	● 環境負荷低減の設計提案管理	児玉	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	毎月10日
	VE提案による包装材重量低減	● 先方からの設計依頼によるVE提案	城戸崎	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	－
		● メインユーザーの現行仕様VE提案	城戸崎							→	→	→	→	→	→	－
	ブランク製品図面見直しによる寸法の最適化	● ISOPからブランク製品をすべてリスト化し、対象品番を選定	児玉	→	→											－
		● 作図用 木型データ入手	児玉			→	→									－
		● 他部署含む加工検討等の実施	児玉					→	→							作図と同時進行
		● 大判寸法変更確定品の図面作成・登録変更準備	技術課員							→	→					確定次第随時

（戸畑工場）

環境目標	環境資源投入時の加工ロス削減　0.361%

（担当部門）製造　部門

（環境委員会等で未達成の原因が取組方法であった場合は、具体的達成手段の項目を追加又は変更すること）

→ 計画　● 実施

項目	手段	取組内容	推進責任者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実施日
【主要3機種】加工平米のロス率削減	ロス事由改善による加工平米のロス率削減	● 数量厳守製品のスペア枚数削減による余剰ケース削減	船田	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	随時
		● 主要3機種　加工ロス率管理（管理値　設定による問題改善）	各機長 職制	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	随時
		● 100ケース以上の加工ロスについて問題改善	各機長 職制	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	随時
基準値（2017～19年度実績平均）対比1%削減		● 乾燥時期におけるスチーム機使用による割れ不具合防止	職制							→	→	→	→	→	→	随時
		● エクオス検査カメラ位置計測登録による加工ロス削減	職制	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	随時

(12)環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価の結果並びに違反訴訟等の有無

・当工場に適応される環境に関する法規を遵守しています。尚、法規確認の結果違反は無く、関係当局並びに利害関係者からの指摘もありませんでした。

(13)代表者による全体の見直しと評価

項目	所見
是正の実施状況	問題ありません。
法の遵守状況	環境省のHPより新しい情報を入手しています。問題ありません。
実施体制の適切性	各部署評価までしっかりできてきました。継続してください。
目標設定の妥当性	環境目標と整合して年一度見直しを行っています。進捗状況報告書も作成されています。
教育、訓練の実施状況	年間教育訓練一覧表に基づき実施されています。
ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝのあり方	外部コミュニケーションについては、問題はないようです。内部でもミーティング等行われていることを確認できています。
文書管理状況	見直しも実施し、リスト化され管理できています。 今後もISO9001と併用可能な文書は統一を検討願います。
緊急事態の考え方	緊急時の訓練については計画通り実施できています。いざという時に対応できるように繰り返し教育をしてください。
環境経営方針の変更の有無	変更はありません。削減も厳しくなってきていますが、必ず増えないように取組みを行っていってください。
環境経営計画の変更の有無	大きな変更指示はしませんが、新しい取組を常に考えて改善できるようにお願いします。
環境経営目標の変更の有無	３ヵ年計画が切り替わります。新たに数値目標を設定してください。継続して削減に取り組んでください。
要求事項の変更の有無	変更はありません。
全体評価	設備投資や工事等で変化点はありましたが、うまく対応できています。 常に監視・改善ができるように各部署一丸となって取組んでいくようにお願いします。